

等々力地区



古着・古布の回収

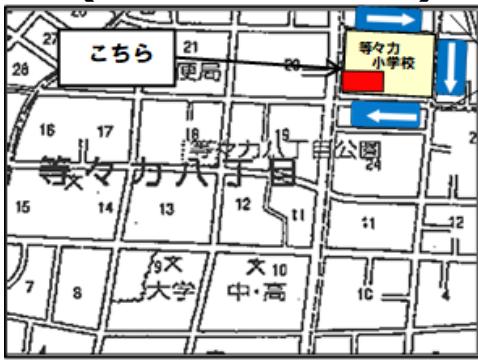


令和8年2月7日(土) 10:30~12:00 小雨決行、雨天中止

★雨天時の開催の有無は、下記問合せ先(せたがやコール)へお問合せください。※学校へのお問合せはご遠慮ください。

■回収場所

①等々力小学校 南門
(等々力7-26-1)



②尾山台中学校 正門
(尾山台3-27-23)



提供いただいた方に
ごみ袋1セット
(45L×10枚)
を配布します!
※1世帯あたり1セット
※無くなり次第配布終了



詳細は区HPを
ご確認ください。

回収できるもの(例)

- 透明または半透明の大きなビニール袋に入れてお出しください(紙袋・段ボールは不可)。
- 洗濯したものをお出しください。
- ボタンやファスナーはついたままで構いません。

■衣類全般
(ゴム製品は除く) 毛布



■シーツ、タオル、

■着物

■靴(ペア)



■ぬいぐるみ



■ベルト、バッグ



回収できないもの(例)

■泥や油などで汚れたもの、濡れた衣類、裁断くず等



■布団、枕
マットレス



■カーペット、
キルティング製品



■雨がっぽ、傘



■注意事項等

- 車で来られる際は、ハザードランプを点灯させながら、係員のところまでゆっくり前進してください。古着・古布は係員が回収いたしますので、車内から出ずに座ってお待ちください。
- 回収日当日の時間内にお持ちください。※回収日前や時間外はお受けできません。
- 回収したものは国内外で古着等としてリユース・リサイクルされます。

【問合せ先】

世田谷区お問い合わせセンター
せたがやコール
電話(03)5432-3333
ファックス(03)5432-3100
ご利用時間 午前8時から午後9時まで 年中無休

【主催】等々力地区町会連合

(事務局 等々力まちづくりセンター)

【協力】等々力地区ごみ減量・リサイクル推進委員会
等々力小学校、尾山台中学校



①危険木の対応状況
昨年度、危険木の伐採や剪定を行いましたが、その後も倒木が発生するなど、想定以上に危険な樹木があることが分かりました。そのため、今年度も引き続き危険木の対応（伐採16本、剪定4本）を行っております。

②園路の利用再開へ向けて
渓谷の川沿い園路を利用いただけるよう、園路脇の土壤環境の改善作業を進めています。渓谷内には作業車両や重機を入れることが出来ず、石や木材を人力で運搬しております。作業内容について、自然素材を用いた工法により、土壤の崩落防止や雨水の浸透能力を高めるなどの対策を行っています。現在、等々力渓谷

太材を組み合わせた土留めゴルフ橋から、グリ石や丸太材を組み合わせた土留め

環境改善作業の整備状況について

等々力渓谷公園閉鎖後の

を臨むことができます。

このように、倒木の危険性のある樹木の対応と、土壤環境の改善作業を進めておりますが、9月に発生しました集中豪雨の被害もあり、作業に遅れが生じています。しかし本年3月末には、皆様に園路を全面的にご利用いただけるよう作業を進めております。

皆様には、ご不便とご迷惑をおかけしておりますが、利用再開へ向けて取り組みに、ご理解、ご協力を

お願いいたしました。

明けて令和8年、新しい年が始まりました。本年は「午年」で十二支の7番目にあたります。十干では「丙」の年となり、干支は「丙午」です。午年生まれの人は活発で行動力のある人が多いと言われています。近年、日本では少子高齢化で人口が減少していますが、世界の人口は、毎年1億人前後増加しています。

1950年に25億人であった総人口は、1986年に50億人、1998年に60億人を突破

し、昨年に82億人を超えたと推測され、その後は増加のペースはだんだんしますが2060年前後に100億人を達成し、2080年代半ばにピークを迎えると予測されています。

第二次世界大戦終結後、国際紛争は絶えることなく、世界のどこかで発生しています。

地球には明確な定員はありませんが、生活するために必要な食料の生産、エネルギー等各資源の埋蔵量の把握、適正な採掘量の設定、安定供給の確保、地球温暖化による気象変動、各種公害等環境問題の適切な対応も課題になつて参ります。

店舗129名の子どもたちが、代は食べ物屋も）。今回は22

（中高生世

代は食べ物屋も）。

子どもたちが、

子どもとしてまつ

りを作り上げ

ました。

10月5日（日）、等々力児童館の子どもたちが自由な発想で0からお店を立ち上げ、準備から当日の運営までを自分たちで担う、まさに「子どもまつり」。ゲーム屋、手づくり小もの屋、ステージ発表、それぞれやりたいことに分かれて一ヶ月かけて準備しました。

子どもたちが、自分で想ひ出で、評価のないまなざしを受けて子どもは成長していきます。等々力児童館は、開館して今年度で57年目。子どもたちを支える、あそべ村の大人実行委員は約100名。親でも先生でも、常にあそびに本気です。そんな子どもたちを支える、あそべ村の大人们は、開館して今年度で57年目。子どもたちが、これまでの成長を実感できる場を作り続けていきました。

これからも皆様と一緒に、子どもも大人も主役の場を作り続けていきます。

子どもも大人と一緒に、子どもたちが、これまでの成長を実感できる場を作り続けていきました。

これからも皆様と一緒に、子どもも大人も主役の場を作り続けていきます。

子どもから、やりたいことが

あります。

子どもからは、やりたいことが次々と出ています。中には突拍子もないアイデアも。「いいね!」「どうしたらできる…?」職員は先回りせず、常に伴走します。思いが形になつた時、子どもたちは本当に嬉しそう!

子どもたちは本当に嬉しそう!



玉川消防団

団広報 97号
2025年12月編集発行
玉川消防団広報委員会

東京消防庁総合震災訓練

令和7年度の東京消防庁総合震災訓練が11月29日(土)、全消防職員約1万8千人及び消防団員を動員し都内一斉に行われました。東京に震度6強の地震が発生したという想定で、消防団員の参集把握、倒壊した建物からの救出、火災に対応するための長距離送水訓練などを実行しました。参集訓練では団員はまず我が家の安全、家族の安否を確認後、それぞれ団本部、分団本部に向かいます。途中、震災の被害状況を確認しながら参集します。分団では団員の参集状況並びに団員からの被害状況を団本部に報告します。そして団本部からの下命を待ちます。火災対応訓練として、下命を受けた第1, 2, 3, 4, 6, 7, 8及び9分団は火災現場に向かい、署隊、各分団と連携し、フローティングストレーナーによる吸水、長距離ホース延長、3台の可搬ポンプで中継、放水を行いました。救急救助訓練では、下命を受けた第5, 10, 11分団が上用賀訓練所に設定された倒壊建物から閉じ込められた住民をチェーンソー等各種救助資器材を活用して、救出するという訓練を行いました。それぞれの活動状況は随時、MCA無線、タブレットを活用し、団本部に送信されました。



フローティングストレーナー



長距離ホース延長、可搬ポンプ、放水



チェーンソーで屋根を切断

玉川地域D級ポンプ操法研修会

11月8日(土)、区主催で玉川地区町会連合会の皆さまを対象に、消防署・消防団の指導による訓練が行われました。訓練では、自治会の参加者がD級ポンプやスタンドパイプの扱い方から放水までを体験しました。

参加者からは「操作はそれほど難しくなく、楽しみながら取り組めた」との声もあり、真剣に学ぶ姿が印象的でした。大規模災害時には同時に多発的な火災が起こる可能性があり、地域の力が初期消火の鍵となります。今後も誰もが気軽に参加できる訓練を重ね、地域全体の防災力を高めてまいりましょう。



D級ポンプ始動



一齊放水

深沢地区合同防災訓練

11月15日(土)、駒沢公園中央広場にて深沢地区9町会連合会防災訓練が玉川総合支所地域振興課、玉川消防署、玉川消防団、駒沢公園管理事務所の協力のもと行われました。

内容は次の通りです。①初期消火訓練②煙中避難訓練③起震車体験④防災トイレ⑤発電機操作訓練⑥座学:せたがや防災士会による「地震時の火災・避難・手当について」

今回は公園内に数か所ある防災トイレを見学しました。設置は簡単で、使用後はそばにある防災井戸より水を流す仕掛けになっています。ただ、簡易式のため和式となっていますので使い方を知らない方も多いかと思います。洋式タイプを増やせたらよいと思います。



防災トイレ



防災戸

イザ！カエルキャラバン！BOSAI スタンプラリーin二子玉川ライズ2025

「カエルキャラバン」とは、2005年から全国各地で開催され、おもちゃ交換(換える)と防災を組み合わせたイベントです。

二子玉川ライズでは、おもちゃ交換の代わりに「スタンプラリー」をセットにして、防災関連グッズをゲットできるようにしたほか、親子で防災・救急のワザや知恵を楽しく学べる催しとして9月23日(火)に行われました。これに協力する玉川消防団は、模擬消火器での初期消火体験、煙体験、本物の放水体験のほか、子供用防火服を着て積載車に乗る体験など、盛りだくさんの企画を提供しました。緊張しながら放水する子供を嬉しそうにスマホで撮影するお父さん・お母さんたち、放水を終えて得意そうに両親に駆け寄る子供たちの姿を見ると、将来この中からたくさんの消防士と消防団員が生まれてほしいと願わざにはいられません。



令和7年度東京都消防褒賞受賞

地域住民の生命・財産の確保に従事している消防団及び消防団員の功績を讃え、受賞者に賞状及び記念章が贈呈されました。

《東京都消防褒賞》

団本部 副分団長 白石 順子
第六分団 副分団長 河野 佐恵美

今後の予定

- | | |
|------------|------------------|
| 12月1日～1月3日 | 年末年始消防特別警戒 |
| 1月 6日(火) | 東京消防出初式 東京ビッグサイト |
| 1月10日(土) | 団始式 駒澤大学深沢キャンパス |
| 1月15日(木) | Tokyo消防団の日 |
| 1月18日(日) | 新春奥沢地区まつり |
| 2月 3日(火) | 等々力不動尊節分会 |
| 3月 1日(日) | 防災フェスタ in 駒沢 |
| 3月1日～7日 | 春の火災予防運動 |

玉川消防署 秋の定期人事

<転入>

新警防課長 引間 郁彦

(八王子消防署救急担当課長より)

<転出>

前警防課長 森田 隆弘 (小岩消防署予防課長へ)

新たに28名の応急手当普及員誕生！

玉川消防署で11月15、16、22日の3日間、応急手当普及員を養成するための講習が実施されました。応急手当の重要性、救命処置、AEDを用いた心肺蘇生、気道異物除去、直接圧迫止血法、三角巾の包帯法などの講義と実習が行われました。3日間の充実した講習により新たに28名の応急手当普及員が誕生しました。これからも応急手当の原点である他人を助ける尊い心(人間愛)を持って精進していこうと思います。



新入団員紹介

よろしく
お願いします！



- | | |
|--------------|--------------|
| 第五分団 岡部 央 | (おかげ かなめ) |
| 第六分団 一本松 麻衣子 | (いっぽんまつ まいこ) |
| 第八分団 大野 和彦 | (おおの かずひこ) |
| 第八分団 木村 礼二 | (きむら れいじ) |
| 第十分団 中村 浩司 | (なかむら こうじ) |

今あなたの力が必要です！

消防団員募集

玉川消防団事務局

090-6951-0833



QRコードで消防団員募集サイトに接続できます

編集後記にかえて

今年も残すところあとわずかになりました。

12月は乾燥する時期の為、年間を通して火災が発生しやすくなります。調理中にはその場から離れない、就寝前・お出かけ前には必ず火の元を確かめる習慣をつけるようお願いします。(H・K)